

花いっぱい

学校教育目標 《子どもたちに、夢・笑顔・やる気・元気を！》



高野尾小学校 人権教育の取り組み

1948年に12月10日に国際連合で、世界人権宣言が採択されたことを記念して、毎年12月10日は人権デーとなっています。本年度は世界人権宣言72年目の人権デーとなっています。

また、日本では、12月4日から10日までを人権週間、11月11日から12月10日までを「差別をなくす強調月間」としています。豊里中学校区でも、人権にかかわる様々な取り組みを行いました。すべての取り組みに全員参加した6年生の作文を交えながら紹介をいたします。

豊里中学校区人権フェスティバル

本来であれば、高野尾小学校から4・5・6年生が参加する人権フェスティバルですが、コロナ禍の中で豊里中学校区の児童生徒が中学校に集まることは難しいという判断を下しました。そこで、中学校区のすべての各小学校で、人権教育に深く携わって見える松村元樹さんをお招きして、6年生に対して人権授業を行っていただきました。松村さんの生い立ちから今までの人生、現在の新型コロナウイルスによる人権侵害等の話を分かりやすく説明をしていただきました。



「コロナウイルスで、感染した人がもう治ったのに、いろいろ言われたりしているのを知ってびっくりしました。感染しなくても、ほかの県の人の車に傷つけるのは良くないと思います。それとか、自分がを傷つけてないと思っても、相手は傷ついていることもあるんだと思いました。松村さんは、保育園児の時でも泣いたらたたかれたり、親に家に入れてもらえなかつたりと聞いてびっくりしました。背が高いことをうらやましがられても、すごく嫌だったということを知ってびっくりしました。ぼくは、なんかいやなことがあったり、いろいろあったりしたときはほかの人に言いたいなと思います。」

「松村さんが兄弟が一番大事にされていないかもしれないと伝えてくれたことで、僕も兄弟が4人いて真ん中で男一人でいつも仲間はずれの気分になります。だけど、男一人だと家のあととりになれるし、男一人だから大事にされるかもしれません。そういうことが話を聞いてもっと分かりました。どんな子でもみんなから大事にされるのがよく分かりました。松村元樹さんのお話を聞いていると少しだけ感動しました。去年と違って自分のことを言っていてそれこい雰囲気はただよってきちゃってちょっと気持ちが落ち着いていきました。これから自分は話を聞いてそれを生かして頑張ります。」

「ぼくは、松村さんの話を聞いて思ったことが2つあります。ぼくのつらいことを受け入れてくれて、ぼくは少しでもかまりほうされると思ったことです。2つ目は、松村さんは4限目の時間が15分も過ぎているのにぼくのことをかばってくれました。ぼくの心の中にある幼稚園のころかばってくれた人みたいでした。松村さんは、最後まできっちり悩んでいることを聞いてくれて、昔のぼくをかばってくれた人に似ていて本当に昔みたいこうれしかったです。」

「テレビで聞く「いじめ」をしている人は、その人だけが悪いってことじゃないことが分かりました。松村さんが自分の気持ちを言えないストレスで弟をけつたりしてたのも、松村さんが昔、弟をいじめていた場面だけ見れば、松村さんが悪い、良くないように見えるけど、松村さんを取り巻いている人たちにも原因があることが分かりました。松村さんは、月曜日だけ学校に行っていなかったと言っていました。私は、不登校の人の気持ちが分からなくて、なんで学校に行かないんだろう。そんなすぐに学校に行かなくてもいいようになれるなんてずいと思

っていました。でも、不登校の人にもいろいろな事情があることが分かりました。松村さんは、何も知らない人に自分のことを言うのはすごく難しいけど、自分のことを言ってくれたから自分も安心して思っていることが言えるんだって思いました。松村さんが語ってくれた小さいころの松村さんが完璧な子ではなかったってこともあると思います。私は、誰かに相談するのも苦手だし、相談されるのも苦手だけど、友達がなやんでいたらそんな大事でないでしょで終わらせないで、話を聞いてあげるようにします。本当にいい友達は、ただ笑って楽しいだけじゃなくて、おたがいの弱いところも受け入れる友達だってわかりました。」

高野尾小学校人権学習授業

12月5日に高野尾小学校で、各クラスで人権学習の授業参観を行いました。各クラスで人権にかかわる授業を行った後に、学級懇談会を実施しました。本年度初めての授業参観でしたが、各学年に応じた人権学習で子どもたちのしっかりとした学習の様子を見ていただけたのではないかと思います。また、学級懇談会では、本日の人権授業や赤十字社の「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」の視聴をしていただいて話し合いをしていただきました。新型コロナウイルス感染防止対策のため、児童数が多い2・3年生は音楽室で、5年生については多目的ホールでの授業参観となりました。参観していただく保護者の皆様にも、マスク着用・手指消毒・体温測定・ソーシャルディスタンス等にご理解いただきありがとうございます。なお、6年生は、新型コロナウイルスについての授業参観でした。

「今日の授業をしてすごく難しい話だなと思った。軽く言っただけで、友達の誰かが傷つくかもしれない。そうやって考えたら深く考えて言う。でもその場のノリとかがあって、自分がいじめられるかもしれない。そう考えたら怖い。でも、松村さんが言っていた関係を積み重ねたら気軽に言っても大丈夫だと思った。でも、関係を積み重ねた友達と話しても、聞いている子が傷つくかもしれない。そう考えたら難しい。」

豊里中学校区人権フォーラム

12月9日に豊里中学校で人権フォーラムが行われました。高野尾小学校からは、6年生全員の8人が参加しました。

豊里中学校・豊が丘小学校・大里小学校の参加者を加えた27人が6つのグループに分かれて、各学校で行った松村さんとの学習を通しての自分たちの思いを出し合いました。最後に、グループで話し合われたことを中学生の代表が報告をした後に、一人一人がフォーラムで学んだことを発表しました。

「自分と同じ意見の人がいて安心した。自分が着ぐるみを着すぎて傷ついてもだめだし、着ぐるみを全部ぬいで、友達を傷つけてもだめだからです。友達にしんらいされて自分もこまったらすぐに友達に話せたらいいなと思います。」

「やっぱり、心が通い合える子たちがたくさんいた。また、人数が多いから関係なしで、たくさん話せた。今日、みんなで話したことを忘れないようにしたい。今のクラス関係なしで、相手の意見も受け止めて、その上で自分の意見を自信をもって言っていきたい。今日話したことを、中学校へ将来へつなげていきたい。」

「私は、今日参加してすごく良かったと思っています。それは、色々な人の考え方が知れたからです。初めて会う人とお互いにごく悩んでいることを話すっていう機会があまりないので、勉強になります。私のグループは、「着ぐるみ」につなげて話していました。素の自分でいられる程度に「着ぐるみ」を着る。それが1番じゃないかなと思います。ほかにもみんな学校では、だいたい「着ぐるみ」を着ているそうです。私は、けっこう素の自分を出せているのでこの環境のありがたさが分かりました。人権フォーラムに行って考えが深まりました。どんな人にも素の自分でいれるようにしたい。私が、素の自分でいたら周りの人も素の自分でいられるかもしれないから。」

